

授業科目 精神障害作業療法特論

【担当教員名】 岡村 太郎	対象学年	4	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

<一般目標：GIO>

精神障害に対する作業療法の治療、訓練、援助の主たる知識を理解する。特に治療構造を中心に検討する。

<行動目標：SBO>

1 現象学的視点, 解釈学的視点から精神障害者の作業療法を述べることができる

2 現存在分析などの視点から症例を解釈できる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	人と作業について：存在論から人を説明できる	1	講義、担当：岡村
2	精神の病と障害：存在論から治療構造の概観が説明できる	1	講義、担当：岡村
3	精神の病と障害：治療構造とICFの関係をの述べるができる	1	講義、担当：岡村
4	（治療理論として）現存在から作業・人と集団・場（トポス）・時間を説明できる	2	講義、担当：岡村
5	症例を通じて作業・人と集団・場（トポス）・時間、特に場と時を説明できる	2	講義実習、担当：岡村
6	症例を通じて作業・人と集団・場（トポス）・時間を通して、作業の治療的役割を述べる	2	講義実習、担当：岡村
7	症例検討		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	現存在分析	荻野恒一	紀伊国屋書店	1994 1800円
	ひとと集団・場	山根寛	三輪書店	2000
参考書	ICF国際生活機能分類		中央法規	2002 3500円
その他の資料				

【評価方法】 期末テスト・出席・レポートにより評価	【履修上の留意点】 グループに分けて、病院で実習が数回ある予定。（日時未定）。
------------------------------	--